

## 5月の星空

### 木星が月に接近

5月15日、月と木星が見かけ上、接近します。最も接近するのは昼間で、肉眼で確認することはできませんが、15日の夕方から16日の未明にかけて、月齢9の上弦過ぎの月と木星が接近して見えます。月と木星が寄り添うようにして輝く姿を観察してみてください。

### 2年2か月ぶりに火星が地球に接近

5月31日、火星が最接近します。前回の最接近は2014年4月14日で、2年2か月ぶりの現象です。

今回の最接近時の火星までの距離は、7528万kmになり、前回の最接近時(9239万km)よりもさらに近づき、前回に比べ、視直径が2割増え、それだけ火星表面が観察しやすくなります。

火星は、今はさそり座のところにいますので、さそりの心臓の星「アンタレス」と赤さを競い合いながら輝いています。しかし、残念ながら、この時期は22時頃にならないと見ることができません。学校や仕事が休みの日に少しでも夜更かしして、赤く輝く二つの星を探してみてくださいはいかがでしょうか。

### 春の大曲線を探してみよう

春の星空には、星座を探すのに適した目印がいくつもあります。北の空に高く昇っている、北斗七星もそのひとつです。七つの星がひしゃくのような形に並んでいます。ひしゃくの柄の先にある星を、そのまま南に延ばしていくと、うしかい座の橙色の1等星アークトゥルスを経て、南の空で白く輝くおとめ座の1等星スピカにたどり着きます。この美しく大きなラインを「春の大曲線」と呼んでいます。アークトゥルスもスピカも明るい星ですので、市街地でも見つけられます。北東から南東の空にかけて、探してみましょ。

### うみへび座を見よう

うみへび座は全天でもっとも横に領域の広い星座です。うみへび座は春の星座ですがうみへびの頭の部分が冬の星座のこいぬ座、しっぽの部分が夏の星座のてんびん座にかかるほどの大きな星座です。頭の部分が東の空に現れてからしっぽの部分が昇り終わるまで、6~7時間もかかります。5月の中旬であれば、20時頃が見頃です。暗い星ばかりでできている星座ですので、探すのは難しいかもしれませんが、うみへび座のアルファルドは2等星で比較的明るい星ですので、よく星の見える暗いところで探してみてください。



GINGA PORT401内で撮影

## 5月のイベント紹介

### 幼児向けプラネタリウム番組

#### はじめてのプラネタリウム 「星うさぎと月のふね」

日時：4月29日(金祝)～5月8日(日)

10:15～11:00

(10分前より入場できます。)

内容：小さい子どもや、赤ちゃんと一緒にプラネタリウムを楽しみたいご家族を対象とした番組です。泣き出したり、おしゃべりしても大丈夫。気兼ねなく楽しめるプラネタリウム番組です。



### コズミックスクール①

#### 「おりがみで星をつくろう」

日時：4月29日(金祝)～5月8日(日)

11:00～12:00

場所：そらんぼ四日市5F コズミックラウンジ

対象：幼児と保護者

内容：おり紙を使っていろいろな星を作ります。お子さんと一緒に作ったおり紙ならきっとよい思い出になると思いますよ。(参加費無料)



### コズミックスクール②

#### 「傘袋ロケットをつくろう」

日時：5月3日(火祝)、4日(水祝)、5日(木祝)

13:15～15:15

【随時受付(最終受付14:45)】

場所：そらんぼ四日市5F コズミックラウンジ

参加対象：幼児～小学生と保護者

内容：雨傘を入れる細長い袋を使ってロケットを作ります。ロケットはどのような原理で飛ぶのかを工作を通して学ぶことができます。

(参加費無料)



## ★★観望会★★

### 《博物館主催きらら号観望会》

日時：5月28日(土)

時間：19時30分から21時

場所：市民公園

内容：木星と火星を見よう

### 《天文ボランティア主催観望会》

日時：5月15日(日)

時間：19時15分から20時45分

場所：勤労者・市民交流センター

内容：月と木星を見よう

※天候不順時は中止です。

## 5月の月

7日



新月

14日



上弦

22日



満月

29日



下弦

## 編集後記

木々の緑にも、清々しさを感じる季節になってきました。

5月の注目はなんと言っても火星の最接近です。例年6月初旬に梅雨入りするので天候が心配されますが、5月31日前後でも、十分に観察ができますので、天気の良い日に火星の観察を楽しみましょう。

